

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年	教科／科目	物理基礎	時間数	2 / 週
単元名	1編 物体の運動とエネルギー / 1章 直線運動の世界			使用教材	
単元の概要	等速直線運動及び等加速度直線運動について理解し、数式で表現する。			「新編物理基礎」 「フォローアップドリル物理基礎」	
評価規準			単元内容		
究	A3	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・合成速度と相対速度 ・等速直線運動 ・加速度 ・等加速度直線運動 	重力加速度の測定
	学習の内容を日常に結びつけることができる。	課題解決に向けて、自ら調査や実験の計画を立てることができる。			
活	A2	B2	C2		
	等速直線運動と等加速度直線運動について自ら考え理解を深めることができる。	直線の運動を比較し、発見することができる。	様々な事象や考えに対し、批判的な立場から考え、議論することができる。		
礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉 授業中の取り組み、実験、レポート、小テスト、PBL活動より評価。	
	等速直線運動と等加速度直線運動について理解できる。	直線の運動の特徴をグラフを使って示すことができる。	課題を解決する道筋を、論理的思考を持って相手に伝えることができる。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		高校1年	教科／科目		物理基礎	時間数	2 / 週
単元名	1編 物体の運動とエネルギー / 2章 力と運動の法則					使用教材	
単元の概要	力と質量と加速度の関係性を理解し、数式で扱う。					「新編物理基礎」 「フォローアップドリル物理基礎」	
評価規準				単元内容			
究	A3	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・力とは ・力のつりあい ・力の合成と分解 ・作用・反作用 ・運動の法則 ・摩擦力 ・抵抗力と浮力 	加速度タイマーを使った実験		
	運動の法則を日常に結びつけることができる。	課題解決に向けて、自ら調査や実験の計画を立てることができる。					
活	A2	B2	C2				
	運動の法則について自ら考え理解を深めることができる。	運動の法則を実験で示した後、その実験の課題を発見することができる。	様々な事象や考えに対し、批判的な立場から考え、議論することができる。				
礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉			
	運動の法則について理解できる。	力と質量と加速度の関係性を実験によって示すことができる。	課題を解決する道筋を、論理的思考を持って相手に伝えることができる。	授業中の取り組み、実験、レポート、小テスト、PBL活動から評価します。			
	知性・知識	応用・発展	創造的思考				

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校1年	教科／科目	物理基礎	時間数	2 / 週
単元名	1編 物体の運動とエネルギー / 3章 力学的エネルギー			使用教材	
単元の概要	仕事の原理と力学的エネルギーの関係性を理解する。			「新編物理基礎」 「フォローアップドリル物理基礎」	
評価規準				単元内容	
究	A3	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事 ・仕事の原理と仕事率 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギー ・力学的エネルギーの保存 	エネルギーの変換に関する実験
	仕事とエネルギーの保存について、日常に結びつけることができる。	課題解決に向けて、自ら調査や実験の計画を立てることができる。			
活	A2	B2	C2		
	仕事とエネルギーの保存について自ら考え理解を深めることができる。	仕事とエネルギーの保存について課題を発見することができる。	様々な事象や考えに対し、批判的な立場から考え、議論することができる。		
礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉 授業中の取り組み、実験、レポート、小テスト、PBL活動から評価します。	
	仕事とエネルギーの保存について理解できる。	仕事とエネルギーの保存の関係性を実験によって示すことができる。	課題を解決する道筋を、論理的思考を持って相手に伝えることができる。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		高校1年	教科／科目		物理基礎	時間数	2 / 週
単元名	2編 さまざまな物理現象とエネルギー / 1章 熱					使用教材	
単元の概要	熱と仕事の関係性を理解し、数式として扱う。					「新編物理基礎」 「フォローアップドリル物理基礎」	
評価規準				単元内容			
究	A3	B3	C3	<ul style="list-style-type: none"> ・熱と温度 ・物質の三態 ・熱の移動と保存 ・熱と仕事 ・熱効率と不可逆変化 	熱の移動の実験 スターリングエンジンの実験		
	熱と仕事について、日常に結びつけることができる。	課題解決に向けて、自ら調査や実験の計画を立てることができる。					
活	A2	B2	C2				
	仕事と熱の関係性について自ら考え理解を深めることができる。	仕事と熱の関係性について課題を発見することができる。					
礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉			
	仕事と熱の関係性について理解できる。	仕事と熱の関係性を実験によって示すことができる。	課題を解決する道筋を、論理的思考を持って相手に伝えることができる。	授業中の取り組み、実験、レポート、小テスト、PBL活動から評価します。			
	知性・知識	応用・発展	創造的思考				